

耶麻農高 農場便り

あ・ぐ・り

Agriculture～農業～

第21号

平成22年12月6日発行

発行責任者
農場長 星久一郎

農場長より

本年は校舎の耐震工事をはじめ、改修等に伴う予算が多くつき、10月から千咲農場用水路の改修工事、11月から千咲農場管理室ならびに畜舎の外壁改修工事が行われています。先日耶麻農業高校において、会津地区の農業担当教員27名が参加して教科研究会が行われました。講師に大分短期大学園芸科准教授の横田直人先生をお迎えして「園芸療法」についての講演が行われ、実習を含め和やかな中で行われました。

インターネット販売も本格的に始まり、次年度以降さらに充実させていきたいと思ひます。



作物部門

今年は公開の文化祭が行われ、300名を超える入場者がありました。作物の部門では、そば粉や白米、サツマイモなどを販売し大変盛況に終了できました。また、作物専攻生の中には学校で行っているそば打ち講習だけでは物足りない、山都町のそば道場に通って生徒もいて、彼らのそば打ち披露も行いました。テント周りは大きな人垣になり、当人たちは大変張り切って、上手にそば打ちを行っていました。二人は町の新そばイベントなどにも、ボランティアとして参加していますので、見かけたら一声かけてあげてください。



野菜部門

あの暑い今年の夏はどこへ行ってしまったのか、いよいよ本格的な冬が到来する時期となりました。今年の秋・冬野菜は露地で白菜やダイコン、ハウスでハウレンソウや水菜、小松菜などを栽培しています。10月に定植したタマネギやニンニクの苗は、寒さに負けず一生懸命育っています。まもなく雪の下となり、長い冬を越えて、また春にはすくすくと成長してくれることでしょう。これからも皆さんに安全で美味しい野菜を提供できるよう、生徒と一緒に栽培していきますので、是非お買い求めください。

課題研究は、2・3年生ともに春から調査してきた野菜について、まとめ始める時期となりました。1月末の校内研究発表大会に向けて、冬休みも学校に来て頑張る機会も多くなりそうです。入賞に向けて頑張っていきたいと思ひます。



畜産部門

今年度は、5頭の肥育牛を出荷することができました。肥育牛の格付けは、A5は2頭、A4が2頭で残りの1頭はA3という結果になりました。また、新たに肥育牛5頭の子牛を導入しました。

文化祭では牛串販売をおこない、焼き方が間に合わないくらい大変好評でした。

9月16日に人口授精した繁殖牛が妊娠し、来年の6月に誕生の予定です。この牛は、親の血統が大変良いので学校の繁殖素牛として大切に育てていきたいと思ひます。

プロジェクト学習は、来年1月末に行われる校内研究発表会に向けてまとめの段階に入っています。良い発表ができるよう指導していきたいと思ひます。



草花部門

早いもので今年ももう終わろうとしています。4月からマリ・ゴールド・サルビア・ペゴニア・カンナ・グロキシニア・シクラメン等の草花の栽培・販売をしてきました。皆様の温かいご支援により、円滑に進めていくことができたことを感謝申し上げます。

また、新年になりますと新たな草花を皆様にお届けできると思ひます。これからも地域に愛される耶麻農業高校草花部門を目指していきたいと思ひます。お気軽に來校し、楽しんでください。そして、お買い上げくださればなお結構です。ご愛顧のほどよろしくお願ひします。

【今後楽しんでいただけそうな草花】

プリムラ・サイネリア・ガベラ・ランキュラス・フリジア



農業クラブより

夏休み中に行われた各種大会の報告をします。

7月21～22日に磐城農業高校で行われた技術競技大会では農業鑑定競技(部門・農業)に4名・情報処理競技には2名出場しました。農業鑑定競技では21の長谷川千宝さんが優秀賞に入賞し10月に北海道で行われた農業クラブの全国大会に本校代表として出場し、全国から集まった農業クラブ員とともに知識・技術を競い合いました。

また、7月23～24日に須賀川市で行われた意見研究発表大会には4部門に6名が出場し、3-1の菊地雄一君が意見発表で優秀賞に入賞しました。農業に対する自分の想いをまとめ発表しました。各種大会に出場した1・2年生は今回の経験を生かし、来年度に繋げていって欲しいものです。

